

平成24年度に福島県民「健康調査」及び「こころの健康度・生活習慣に関する調査」を受けられ、平成25～29年の調査を継続して受けられた方、およびそのご家族の方へ

—「放射線災害後の出産経験の有無と生活習慣病発症との関連」

へご協力をお願い—

研究機関名 岡山大学大学院保険学研究科

研究機関長 廣畑 聡

研究責任者 岡山大学学術研究院保健学域看護学分野 助教 安川 純代

研究分担者 なし

1. 研究の概要

1) 研究の背景および目的

女性において、震災等の非常時における精神的ストレスがその後の生活習慣病発症や循環器疾患発症に与える影響について評価した報告はほとんどありません。東日本大震災後に避難された住民女性では出産経験の違いによりストレスの度合いが異なることが分かっています。本研究は、「広島大学・長崎大学・福島県立医科大学共同 放射線災害・医科学研究拠点 共同利用・共同研究」ネットワーク型拠点の公募研究（放射線研究及び関連諸科学の共同研究）として申請し、承認を得て実施されます。上記のネットワーク型拠点である福島県立医科大学は、福島県より、東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故による放射性物質の拡散や避難等を踏まえ、県民の被ばく線量の評価を行うとともに、県民の健康状態を把握し、疾病の予防、早期発見、早期治療につなげ、将来にわたる県民の健康の維持、増進を図ることを目的とする「県民健康調査」の委託を受け、「健康診査」「こころの健康度・生活習慣に関する調査」等を実施しています。本研究では、福島県立医科大学との共同研究により、「健康診査」「こころの健康度・生活習慣に関する調査」にて既に得られた情報を用いて、東日本大震災によって避難した女性において出産経験があるかどうかの違いにより、精神的ストレスから生じる生活習慣病や循環器疾患発症予防のために必要な生活習慣や社会資源、サポートを検討することを目的とします。

2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

これまでに東日本大震災等の大規模災害後の女性において出産経験の違いによる生活習慣病や循環器疾患発症との関連について検討した研究はほとんどなく、新しい研究となります。震災後に出産経験の有無により異なる女性の精神的ストレスが生活習慣病や循環器疾患発症に及ぼす影響を明らかになることで、日常生活上の留意点や必要な社会資源やサポート、さらにストレスに対応できるポジティブな因子を増やすような取り組みの重要性について、示すことが可能となります。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

対象者は震災時に福島第一原子力発電所の避難地域に居住しており、震災後の平成24年度に健診を受診し

た40-90歳の日本人男女のうち、こころの健康・生活習慣に関する調査にも回答した約40,000人です。

2) 研究期間

本学倫理委員会承認後～2032年3月31日

(本学倫理審査委員会承認後に、「広島大学・長崎大学・福島県立医科大学共同 放射線災害・医科学研究拠点 共同利用・共同研究」から承認を得た後に研究を開始します)

3) 研究方法

平成24年度の出産経験の有無や生活習慣、心理社会的因子と、その後の健診及びこころの健康・生活習慣に関する調査にて把握した平成25年～29年における糖尿病、高血圧等の生活習慣病、循環器疾患の発症との関連について、前向きに検討します。

4) 使用する情報

この研究に使用する情報として、共同研究機関である福島県立医科大学より以下の情報の提供を受けて使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないよう十分に留意し、プライバシーの保護には細心の注意を払います。

- 1) 患者基本情報：年齢、性別
- 2) 心理社会的要因：出産経験の有無、精神的不調、トラウマ反応
- 3) 社会的要因：震災による避難の有無、失業の有無等
- 4) 生活習慣：運動習慣、食習慣、睡眠、飲酒、喫煙等
- 5) 循環器疾患：心臓病・脳卒中の発症
- 6) 血液検査：HbA1c、血糖値、中性脂肪、HDL
- 7) 死亡を含む異動情報

5) 外部への情報の提供

この研究に使用する試料・情報は、共同研究機関である福島県立医科大学より提供を受けて使用させていただきます。提供の際、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除して使用させていただきます。

6) 情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学大学院保健学研究科（看護学分野）で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。保管期間終了後は、本研究に用いた情報、資料は破棄させていただきます。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

7) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2031年12月31日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて皆様に不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学学術研究院保健学域 看護学分野 助教 安川純代

電話：086-235-6857（平日：10時00分～16時00分）

E-mail: yasuka-s@cc.okayama-u.ac.jp

「こころの健康度・生活習慣に関する調査」専用お問合せ先

福島県立医科大学県民健康管理センター

電話：024-549-5170（土日祝日を除く）

<研究組織>

共同研究機関

福島県立医科大学	疫学講座	教授	大平	哲也
福島県立医科大学	疫学講座	講師	江口	依里
福島県立医科大学	放射線生命科学講座	教授	坂井	晃
福島県立医科大学	災害こころの医学講座	教授	前田	正治

2019年5月16日 第1版

2022年1月17日 第2版

2024年1月23日 第3版